

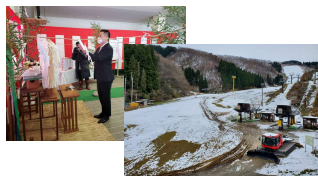
◆2年連続 島内選手へ
小松市プロスポーツ大賞贈呈
(12月)



今年1年間活躍したプロスポーツ選手に贈る「小松市プロスポーツ大賞」の贈呈式が小松市役所で行われ、串町出身プロ野球東北楽天ゴールデンイーグルスの島内宏明選手に、2年連続で大賞が贈られました。



◆大倉岳高原スキー場オープン式
(12月)



今シーズンの賑わいと積雪、そして安全を祈願しました。

◆出初め式 (1月)



小松市民の生命財産を守る力強い姿に感動しました。

◆宮橋市長の
新春市政報告会
(1月)



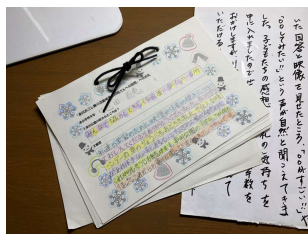
昨年8月の豪雨災害の対応や今年取り組まれる色々な事業等をスクリーンで説明され、今年の市政にける意気込みを感じました。素晴らしい小松の未来に期待します！

♪ちょっとコラム♪

串小学校4年生からのお手紙に感動！

今年も
励みます！

串小学校で取り組んでいる環境の学習に、串川の歴史、串川クリーンデーや串川おこし隊の活動を説明したところ、子ども達からお礼のお手紙をいただきました。子ども達の環境や地域への想いに胸がいっぱいになりました。これからも地域の皆さまとともに、より良い公園作りに励みたいと思います。



かわさき 順次 - News'

市政報告
地域活動報告

令和5年
新春号



拓栄町からの白山

新しい年を迎えられ皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また旧年中は、様々な活動に深いご理解と温かいご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

また、議員活動も早くも28年がたち、これまで長きにわたり議員を務めさせていただくことができたことを改めて皆様に感謝申し上げます。

輝かしい新年の幕開けにあたり、皆さまと多くの対話を重ね、2024年春に北陸新幹線開業に向けて大きく変わろうとしている小松市を、誰もが安心して暮らせる新しいまちづくりの実現に向けて歩みを止めず更に新しい一歩を踏み出して取り組んでまいりたいと決意を新たにしております。

私は市民の付託を受けている以上、市民の立場に立ち市政発展のために議論を重ね議会で常に発言し行動する事を大切にまいりました。引き続き、これまでと変わらぬご支援をいただけますよう、改めて心からお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、ご健勝で幸多い素晴らしい年でありますように心からお祈り申し上げ新春のご挨拶とさせていただきます。

小松市議会議員 川崎順次



小松市議会本会議／定例会 質問内容を抜粋！

小松市議会議員
川崎 順次



令和4年12月定例会

代表質問

小松空港周辺に 企業誘致・アリーナ建設が最優先！

◆令和5年度予算編成について

Q：新型コロナウイルス感染症や不透明な世界情勢、原油価格及び物価高騰など需要増加も懸念されるが、財政の見通しは？

A：歳入はコロナ前の水準に戻る見込みで増加していく。歳出は議員ご指摘の影響が懸念されるが、開業まで1年を切った北陸新幹線小松駅開業関連に大幅な予算を配分したい。

Q：北陸新幹線小松駅開業について、本市にとって歴史的にも重要な年になるが、具体的にどのような立案を考えているのか？

A：市長がトップのプロモーションチームを発足させ、首都圏等でのPR活動、また3月にはカウントダウンイベントも実施していく。



Q：市長の新しい小松をつくる55の実現、具体策は？55の政策と（仮称）2040年ビジョンの具体的内容は？

A：学校給食無償化の対象拡大、未来型図書館の候補地決定と具体的な計画づくりなどを行う。ビジョンは、「小松を明るく、にぎやかに！」をテーマに、空港や新幹線駅といった都市機能や産業力などの本市の強みを発揮することで、持続可能な成長とまちのにぎやかさを生み出す好循環のまちづくりを進める。

Q：建設予定の小松駅北電ビルは、公立小松大学大学院、サテライトオフィス等入る予定だが、今年になって完成を1年余り延ばしてほしいとの話になった。本市としては新幹線開業を見据えてどのくらい待つのか判断していく必要があるのではないか？

A：駅東の最重要な土地であることから、いつまでも遊休地とすることはできないと考えている。1年以内をめどに協議を進めていきたい。

◆小松、台湾友好について

Q：彰化市との友好の現状は？

A：それぞれの市長就任時に祝意のメッセージを送り、友好を確認している。

Q：来春に、エバー航空のデیلیー運航が復活する。ぜひ同航空が運営するローレルホテルを誘致できないか？

A：空港周辺でのホテル誘致も一つのご提案として都市機能の強化、拡充につなげていけるよう、産業団地の整備や企業誘致に積極的に取り組んでいきたい。

◆小松空港周辺にアリーナ建設

Q：北國銀行によるアリーナの建設誘致は民間・県・市が一緒に協議し、スポーツ以外のイベントができる複合型のすばらしい大型アリーナにしてほしい。

A：民設民営のアリーナ構想について、課題を整理しながら、しっかりと後押しし、協議を進めていきたい。

北國銀行は女子ハンドボール部「Honey Bee（ハニービー）」をもち、日本リーグで史上初の8連覇を達成している。24年のプロリーグ開幕を見据えて、アリーナを造る構想。収容人員は1万人規模を想定。建設も運営も北國FHDが手がける「私設私営」の予定。



十数年要望してきた大型企業誘致が、宮橋市政となり動きだしてきたことをとても嬉しく思っております。新たな企業誘致、環境整備により、若者の地元での就職を促し将来的な人口増加や財政の健全化を図り、小松が新しい産業の創出で力強いまちになれるよう、引き続き、全力で取り組んでまいります!!



◆第2滑走路

Q：第2滑走路について近畿中部防衛局長は、「現状では必要性を感じない」と認識を示されましたが、市長の捉え方は？

A：まずは、現滑走路の利用拡大や増設の必要性について整理が必要という立場。県への調査を要望するとともに市でも調査を行い、空港立地市としてしっかりと議論していきたい。

◆市民病院の看護師対策は？

Q：勤務体制の見直しは？

A：多職種からなる働き方改革委員会を年6回開催し、院内全体で改善に取り組んでいる。

Q：給与体系の見直しは

A：地方公務員法や人事院勧告の基準を超えない範囲ではあるが、特殊勤務手当の新設や支給対象の拡大を行っている。

◆高規格道路、小松白川連絡道路について

Q：今後の経済産業の発展、緊急代替路線として必要

A：南加賀地域と飛騨地域を結ぶ重要な広域幹線道路と捉えている。

◆eスポーツの取組について

Q：今後の市の対応は？

A：まずは出張体験会で高齢者が日頃から体験できる機会を増やして、関心や理解を広げていきたい。

また、全国的に、eスポーツを教育促進のツールと捉えて、学校現場、部活動に採用する動きが増えている。学校への普及やeスポーツ大会の誘致への取り組みとともに、子どもと高齢者がお互いに声援を送りながら、世代を超えてプレーを楽しむというような日常シーンが増えることを期待しつつ、小松らしい先進モデルを取り組みとして目指していきたい。



まちカフェおっつかあ〜でもeスポーツ太鼓の達人を楽しみました。（2023年1月）

／地元の声に答えて！／

串小中学校グラウンドのトイレ改修工事が始まりました。3月に完成予定です。



串川公園の防護柵工事も順調に進んでいます。



皆様方とたくさんの対話を重ね、より良い小松市を目指して参りたいと思います。皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



ご連絡お待ちしております！

お問い合わせ先は裏面事務所へ